

# 遊泳者の安全を祈願



7月15日（火）、岡崎海岸で海開き安全祈願祭が行われ、出席した関係者11人が水難事故の防止と遊泳者の安全を祈願しました。

昨年までは、古くから船人から信仰を集め海上安全の祈願寺としてたくさん船絵馬などが奉納されている円覚寺で行われていましたが、今年は11年ぶりに岡崎海岸で開催されました。安全祈願祭では平沢町長が「子どもたちにとっては待望の夏休みがやってきます。子どもたちをはじめ多くの方々に、きれいな海で思う存分楽しんでいただきたい」とあいさつ。

安全祈願祭の後、青い鳥保育園とえの木保育園の園児12人が天然海水プールで2025年の初泳ぎをしました。園児たちは浮き輪などを手に海へ入ると海水をかけあったり、海藻や海の生き物を観察するなど、海水浴を楽しんでいました。

環境省水・大気環境局が公表している水浴場水質検査によると、岡崎海岸の水質は最高ランクのAA判定でした。

町内には会場となった岡崎海岸のほか、千畳敷海岸や森山海岸など、日本海の素晴らしい景観を楽しめる海岸が多く点在していることから、多くの海水浴客の訪れを期待したいところです。



海水浴を楽しむ園児たち



関係者によるテープカットセレモニー

## 関地区

### 有志による夏祭り開催

7月12日、関福祉センターで地区の有志による夏祭りが開催されました。以前は地区の子ども会で開催していた夏祭りですが、少子化の影響で子ども会が解散したことに伴い開催されなくなっていました。地元を盛り上げるため地域の有志が協力し、10数年ぶりの復活となりました。

会場には、おでんや焼き鳥、サザエのつば焼き、かき氷、ヨーヨー釣りといった出店が用意され、地元住民や地区の小学生など150人ほどが集まりました。

祭りではお神輿も準備され、地元の子どもたちがお神輿を担ぎ「わっしょい！わっしょい！」と掛け声を上げながら会場内を練り歩きました。参加した子どもたちは「初めてお神輿を担いだ」「重かったけど、楽しかった」と一足早い夏祭りを楽しんでいました。

夏祭りを開催した有志代表の牧野祥侑さんは「地域に盛り上がりつつほしくて開催した。たくさんの方が集まってくれて嬉しい。来年以降も継続していきたい」と意気込みを語っていました。



お神輿を担ぐ子どもたち



ヨーヨー釣りを楽しむ親子

### 深浦の魚を食べよう！

#### お魚料理教室開催

7月10日、魚介類のおいしさや魚に親んでもらおうと、大戸瀬中学校で深浦産のカワハギやアジ、イカ、また、ふかうら食品（株）、青森県ほたて流通振興協会より提供のあった塩蔵わかめ、つるつるわかめ、ベビーホタテを食材にしたお魚料理教室が開催されました。

今回のお魚料理教室は、総合的な学習の授業として開催され、大戸瀬中学校の3年生17人が、新深浦町漁協北金ヶ沢地区女性部の方々にお手本を見せてもらい、捌き方のポイントを教えていただいた後、生徒たちが挑戦。悪戦苦闘しながら楽しくカワハギやアジ、イカを調理しました。

完成した料理は、生徒や先生、協力した新深浦町漁協北金ヶ沢地区女性部の方々でおいしくいただきました。生徒からは、「3枚におろすのが難しかった」「自分たちで捌いたカワハギとアジのフライがおいしかった」などの声が上がりました。深浦の魚のおいしさを知るとともに、地域食材を通じて料理の楽しさも感じていたようでした。



三枚おろしのやり方を教えてもらう生徒たち



イカを捌く生徒たち